



働く、が変わるとき。

PCA

ピー・シー・エー株式会社

クラウド型業務ソフト『PCAクラウド』シリーズに 加わった“on AWS”バージョンで サービスラインナップを強化し、幅広いニーズに対応

ご利用中の主なサービス

- Amazon ECS
- Amazon Aurora PostgreSQL
- Elastic Load Balancing
- Amazon ElastiCache
- Amazon Elasticsearch Service
- Amazon EC2
- Amazon CloudWatch

ビジネスの課題

- 24 時間稼働する SaaS 型 ERP への
ニーズ拡大
- 安価で自由度の高いクラウドサービスの
提供
- Web-API を利用した、他のクラウド
サービスとの連携拡大

AWS を選択した理由

- 従来サービスと比べて大幅にインフラ
コストの削減が可能
- API エコノミーの規模の大きさ
- 自動化を実現するサービスの充実
- 耐障害性の高さ、セキュリティサービス
の充実

AWS 導入後の効果と今後の展開

- 既存サービスからの移行が加速見
込み
- マネージドサービスや監視サービスの
活用で運用負荷を軽減
- 包括的なクラウド移行プログラムを活
用して『PCAクラウド on AWS』のサー
ビス提供を促進
- 業務利用の社内サーバー群を AWS に
移行し、インフラ全体のコストダウンへ

中堅・中小企業向けの業務用パッケージソフトを開発・提供するピー・シー・エー株式会社（以下、PCA）。同社は、18,000 法人が利用するクラウド型業務ソフト『PCAクラウド』において、新たにアマゾン ウェブ サービス (AWS) をサービス提供プラットフォームに採用した『PCAクラウド on AWS』を 2021 年 4 月にリリースしました。ユーザーの選択肢を拡大したこのサービスでは AWS のマネージドサービスを積極的に採用し、運用負荷やサービス障害の低減を実現しています。

夜間利用のニーズに応えて 『PCAクラウド on AWS』をリリース

PCA は 1980 年の創業以来、会計、人事・給与、販売管理、仕入在庫管理などに関わるパッケージソフトの開発からサポートまでを一貫して手がけています。

製品の提供形態としては、従来からの永続ライセンス（買取型）に加え、サブスクリプション（定額）サービスとしてクラウド型の『PCAクラウド』、顧客先のオンプレミス環境に導入する『PCAサブスク』がありました。2021 年 4 月にクラウド型の『PCAクラウド on AWS』をラインアップに加え、現在は 3 つのサブスクサービスを提供しています。

『PCAクラウド on AWS』は、データセンターを利用する『PCAクラウド』と異なり、プラットフォームに AWS を採用したサービスです。『PCAクラウド』が 5 ～ 24 時と利用時間を限定しているのに対して、24 時間利用でき、ライセンスコストも安価に抑えています。『PCAクラウド on AWS』は、夜間も含めて 24 時間利用したいというお客様の要望に応える形でリリースしたサービスです。標準機能から省いた OTP、SLA、SOC などは、様子を見ながら追加を検討していきます」と語るのは取締役 開発本部長の佐久間哲雄氏です。

PCA のサブスクサービスは、3 か月の無料試用期間でパフォーマンスを確認してから導入することができます。「3 つのサービスいずれも、無料体験が可能です。SaaS ビジ

ネスの拡大を目的に 2021 年 4 月に設立したカスタマーサクセス部が他社 ERP からの移行を全面的にご支援しています」と、事業戦略部 部長の伊藤真一郎氏は語ります。

マネージドサービスとコンテナを活用し 運用負荷を軽減

PCA が同社のサービスの新プラットフォームに AWS を採用したきっかけは、2019 年末に AWS から提案を受けて実施したクラウドエコノミクスで、90 % のインフラコスト削減という試算が出たことでした。

「試算といっても 90 % 削減可能という数値は衝撃的であり、経営層にすぐ諮りました。API エコノミーを拡大する事業戦略を考慮しても、採用実績が豊富な AWS を選択することは自然な流れでした」（佐久間氏）
また、開発の自由度の高さも決め手になりました。開発本部 システム開発部 次長の加藤昌明氏は「外部データセンターの利用では、コンピューティングやストレージのリソース配分が固定化される部分がありましたが、AWS では効率よくリソースを活用できます。無尽蔵ともいえる拡張性や、コマンドラインインターフェイス (CLI) 等を活用してあらゆることが自動化できることも魅力でした」と語ります。

『PCAクラウド on AWS』の開発は、2020 年 5 月から約 1 年間で実施。Data API として、マルチ AZ を活用した Elastic Load Balancing、Elastic Container Service、



ビー・シー・エー株式会社
取締役 開発本部長
佐久間 哲雄 氏



ビー・シー・エー株式会社
事業戦略部 部長
伊藤 真一郎 氏



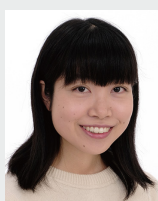
ビー・シー・エー株式会社
事業戦略部プロダクトマーケティングセンター
課長
宇野 照夫 氏



ビー・シー・エー株式会社
開発本部 システム開発部
次長
加藤 昌明 氏



ビー・シー・エー株式会社
開発本部 システム開発部
エンジニア
白石 涼氏



ビー・シー・エー株式会社
開発本部 クラウドビジネスセンター
主任
洞口 麻里 氏

カスタマープロフィール

ビー・シー・エー株式会社

- ・設立：1980年8月1日
- ・資本金：8億9,040万円
- ・従業員数：425名(2021年3月末)
- ・事業内容：業務用パッケージソフト『PCAシリーズ』、『PCAクラウド』、『PCAサブスク』、『PCAクラウド on AWS』などの開発、販売、サポート

「AWS の提案を受けて実施したクラウドエコノミクスで、90% のインフラコスト削減という試算が出たことに衝撃を受けました。API エコノミーを拡大する事業戦略を考慮しても、採用実績が豊富な AWS を選択することは自然な流れでした」

ビー・シー・エー株式会社 取締役 開発本部長 佐久間 哲雄 氏

Amazon Aurora の構成とし、Web-API では Amazon ElastiCache をセッション情報のキャッシュ、Amazon Elasticsearch Service をログ保存先として利用しています。開発本部 システム開発部 エンジニアの白石涼氏は「AWS のベストプラクティスに添った構成とすることで、開発はスムーズに進みました。Amazon Aurora の導入により、DB の性能や可用性が向上し、マルチテナント構成の柔軟性が増しています」と語ります。

AWS 上でのサービス構築に際しては、マネージドサービスとコンテナ (Amazon ECS) を利用したモダンな構成とし、運用負荷を軽減するとともに、サービス障害の懸念を解消しました。アーキテクチャの検討、設計、構築時には、AWS を安全かつ効果的に利用する指針がまとまっている AWS Well-Architected フレームワークが役に立ったといいます。開発本部 クラウドビジネスセンター 主任の洞口麻里氏は「このフレームワークと比較することで、アーキテクチャに大きな問題がないことを確認できました。運用フェーズに移行後も、次の強化点の見通しを立てることができたため、定期的にチェックを続けていきます」と語ります。

今後は、現在実装中の SIEM on Amazon Elasticsearch Service によってセキュリティログを可視化し、AWS の各種セキュリティサービスを活用しながら、より安全で安心なサービスを提供していく予定です。

顧客に新たな選択肢を提供し 既存 ERP からの乗り換えを加速

『PCAクラウド on AWS』リリースの反響は大きく、無料体験の申込みが数多く寄せられており、顧客の本番導入も進んでいます。「2021年4月～10月末のクラウド無料体験の申込みは前年比で134.5%に達し、クラウド契約数も前年比の155.3%と大幅に伸びています」(伊藤氏)

2021年9月には『PCAクラウド on AWS』の同時利用ライセンス数の上限を、当初の

3CAL から 72CAL に拡充し、多数の業務担当者による運用も可能となりました。事業戦略部 プロダクトマーケティングセンターの宇野照夫氏は「CAL の拡充で、大規模な運用ニーズに応えることができるようになりました。大規模なシステム運用を望むお客様からは、夜間のバッチ処理や大量データの移行に対応できる 24 時間稼働が高く評価されています」と語ります。

『PCAクラウド on AWS』によって、顧客の選択肢がさらに広がり、既存サービスからの移行も進むと予測されています。

AWS の MAP プログラムを活用し サービスの品質向上を促進

今後に向けては、2021年7月に AWS の包括的なクラウド移行プログラム『AWS Migration Acceleration Program (MAP)』を締結しました。MAP を活用して 3 年かけて『PCAクラウド on AWS』のサービス提供を促進するとともに、業務利用の社内サーバー群も AWS に移行し、インフラ全体のコストダウンを図っていく計画です。アーキテクチャについては、AWS の各種サービスを活用しながら、よりモダンでクラウドに最適化したアーキテクチャを推進していきます。

「AWS がそうであるように、『PCAクラウド on AWS』もシームレスにプロビジョニングを実行し、あらゆる機能を API として利用可能にしながら周辺・拡張サービスや外部サービスとつなげていきます。並行して、エンジニアの教育を進め、AWS の資格取得者を増やしていきます」(加藤氏)

営業面では、AWS と APN パートナー契約を締結し、マーケティング面での連携を予定しています。伊藤氏は「AWS とのパートナーシップで『PCAクラウド on AWS』の認知度向上を図っていきます。AWS には、今後も販売パートナーや土業のお客様向けの営業支援と、AWS の API エコノミーを活かしたお客様との連携に期待しています」と語ります。



アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア <https://aws.amazon.com/jp/>

Copyright © 2021, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.